

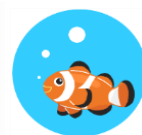


中谷外科病院広報誌



Vol. 50

2020年4月発行



くまのみ 通信

医療法人 吉備会 中谷外科病院
〒706-0001 岡山県玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486
<http://www.nakatani-hosp.jp/>



電話による遠隔診療 ～新型コロナに負けるな！～



新型コロナウイルス感染症があつと言う間に世界中に大流行(パンデミック)し、私たちの生活が大きく様変わりしました。毎年流行するインフルエンザと新型コロナの最大の違いはその感染の広がり方です。インフルエンザが線香花火のように人から人に一人ずつジワリと感染していくのに比較し、新型コロナはまるで打ち上げ花火のように一人の感染者が近くにいる大勢の他人にドーン・ドーンと一気にウイルスを移すクラスター(集団)感染という様式で広がります。また新型コロナは高齢者や基礎疾患のある人では重症化しやすいのですが、若い人達は感染していても症状が軽いことが多いという特徴があります。軽症の若者達があちこちに移動し色々な人と接触することで打ち上げ花火が多く場所で上がります。その結果「感染爆発」を起こし、多くの尊い命が失われているのです。

このような手強いウイルスに打ち勝つために、今最も大切なのはとにかく感染をこれ以上広げないことです。三密(密閉、密集、密接)を避けることです。長期戦になりそうですが、ワクチンや特効薬が開発されるまでじっと我慢。あなたの大切な人を守るために家で過ごしましょう。

コロナは今私たち人間を試しています。人間の身体を苦しめ、心を不安で満たし、他人への偏見とか差別意識を生み出すという負のスパイラルをうまく利用して、奴らは狡猾にも勢力を広げようとしています。人類がこの戦争を生き抜き、少しでも早く感染を終息させるため、私たちは冷静さを失うことなく、知恵をしぼり、力を合わせていかねばなりません。

当院では令和2年度に入り、三密を避けるために各種の対策を行っており、その一環としてインターネットを利用した「web会議」や「電話や情報通信機器を用いた診療」を開始しました。高額な機器や難しいシステムは不要です。直接病院へ来院されなくてもお手持ちの電話やスマホで相談や診察を受けることができます。

どうぞお気軽にお問い合わせください。

「コロナなんかに負けないぞ！」



令和2年4月吉日 中谷外科病院 院長 中谷 紳

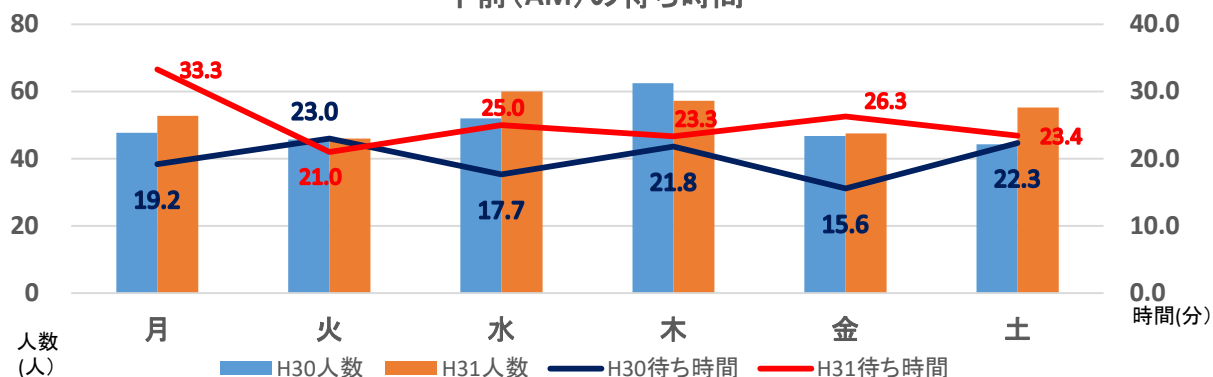
新型コロナウイルスの感染防止に伴う 電話再診による処方箋交付について

2月28日の厚労省の通達により、高齢者・基礎疾患を有する方につきましては、医療機関を受診しなくてもよいように、継続的な診療、服薬については、医師の判断で電話による診療、処方箋の発行ができることになりました。

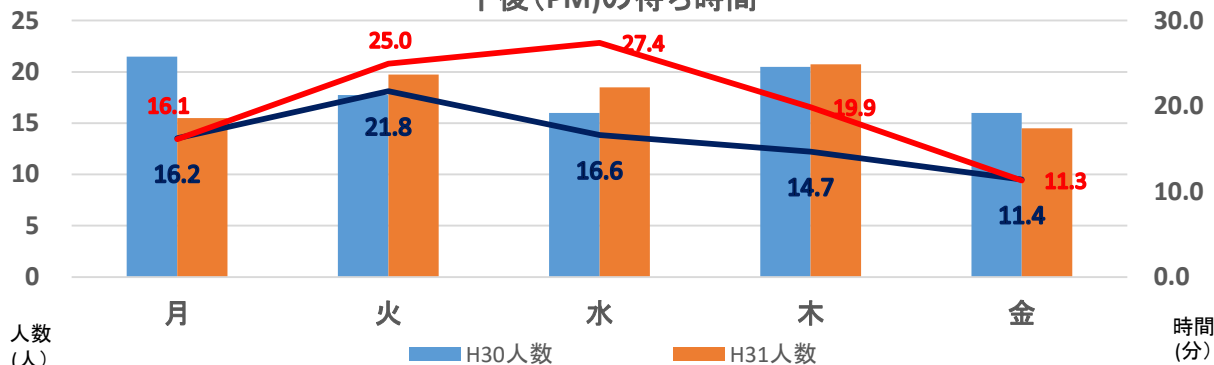


外来待ち時間調査

午前(AM)の待ち時間



午後(PM)の待ち時間



①平均待ち時間

午前・・・H31年度25.4分 H30年度19.9分 (+約5分) 対象患者数は約20人増加

午後・・・H31年度16.6分 H30年度13.4分 (+約3分) 対象患者数はほぼ同じ

⇒ 昨年より待ち時間が増えている。

②曜日別待ち時間

長い順 ①月曜日午前33分 ②水曜日午後27.4分 ③金曜日午前26.3分

④水曜日午前・火曜日午後25分

⇒ 午前は昨年と全く傾向が異なりどの曜日でも20分以上の待ち時間がある。週初めである月曜日午前中が特に長く、金曜日の午後が待ち時間が短い。

昨年は午前に比べ午後が比較的待ち時間が短かったが、今年は火曜日、水曜日の午後も待ち時間が長い。

待ち時間は患者数や医師数によるところも大きいですが、外来の状況を判断しながら診察医の調整を行ったり、患者様に声かけしたり、待ち時間を快適に過ごして頂けるような環境を整えるといった待ち時間対策を今後、患者サービス向上委員会で検討していきたいと思います。

(患者サービス向上委員会 山崎早苗)

病院機能評価3rdG:Ver1.1

「期中の確認」を受審して



平成29年10月に3回目の病院機能評価を受審し、早いもので3年目を迎え、この度病院機能評価3rdG:Ver1.1「期中の確認」を受審しました。この「期中の確認」とは病院の継続した質改善活動を支援することを目的に実施されます。具体的にはさまざまな評価項目に対して、S/A/B/Cの4段階評価し、前回のサーベイヤーの所見を参考に、「アピールしたい点」「課題と認識している点」を自己評価します。認定がゴールではなく、目的を持って質改善活動の風土を作り上げることこそが、病院体制の一層の充実や医療の質の向上につながるのだと再認識する良い機会となりました。もう来年度には次の受審に向けて、準備を進めていかなければなりません。自分たちが行っている医療の方向性が良いのか悪いのか、第三者から評価されることは変革できる絶好の機会と捉えて、全職員がレベルアップできるよう取り組んでいきたいと思います。

機能評価実行委員 藤木憲二 松本英子

スタッフのひとりごと



私は家に来た野良猫を14匹保護し、6匹里親さんを見つけ、今家で6匹の猫と生活をしています。猫6匹と生活をして思うのは、猫それぞれ。

好きなご飯、嫌いなご飯、好きなおもちゃや撫でてほしいとこ、トイレの時の癖など個性があってその個性に合わせて遊んだり、ご飯をあげたり忙しいけど楽しく癒されながら生活しています。

病院でも患者さんそれぞれ、環境・性格・病状の違いなどそれぞれの状態や個性にあわせてケアができる看護師でありたいと思います。



病棟看護師 菖蒲 育美

『お薬のおはなし』～薬の保管～



桜の咲くシーズンが来て、だんだん暖かくなってきました。今回は、お薬の保管のお話です。今はまだ寒い日もあり、日中も20℃を超えることはあまりありませんが、これから夏になると35℃を超える日も多くなります。しかし、電気代を考えるとエアコンを24時間つけっぱなしにはできない...ですね。

ところが...ほとんどの薬の保管温度は(特に指定されない限り)『30℃以下』!!

では冷蔵庫に入れては...と思うかもしれませんが『室温に戻すときに結露するので冷蔵もダメ』。というわけで...夏は『お薬を家の中のできるだけ涼しい場所に保管』しましょう。もちろん『薬局で薬を受け取ってから、うっかり車に放置...』なんて、とんでもない!! 気を付けて下さいね。

薬剤師 赤松 由紀子



《 第13回院内研究発表会 》

日時: 令和2年2月22日(土) 13時30分～15時30分

場所: メバルサロン



部署・委員会	発表者	演題
院内感染委員会	赤松 由紀子	抗生剤ワークシートの集計結果
病棟看護部Aチーム	小林 加世子	摂食・嚥下障害のある 認知症高齢者の回復へのアプローチ
事務部	若林 潤	医療費のカード払いについて
褥瘡・摂食嚥下・NST委員会	石本 玲子	「食べる力」をみる
病棟看護部Bチーム	藤原 佐千世	ターミル期にある患者への退院支援の重要性
外来看護部	岩崎 朋美	当院における外来看護師の接遇について
医療安全管理委員会	新田 照美	医療安全管理室とは
診療部	中谷 紳	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への 適切な対応のために



院内研究発表会を重ねて13回となりました。全7症例の内2症例が『食べる』ことがテーマでした。患者さんにあった食形態の工夫や、嚥下訓練等スタッフの努力の足跡を見ることができました。抗菌薬、ワークシート集計結果は毎年恒例となり、分析がしっかり出来ており抗菌薬運用の羅針盤となっています。来年も引き続き充実した発表会が開催できることを願っています。

看護部長 新田照美

